

まちづくり委員会 基本方針 (案)

まちづくり室 まちづくり委員会
委員長 蒲原 伸矢

1 昨今、新型コロナウイルス感染症により引き続き全世界が大きな影響を受け、一般社団法
2 人佐賀青年会議所の活動が縮小や自粛という状況に見舞われておりました。佐賀市に存在
3 する課題と向き合い、佐賀の財産として価値を見出すために分散型やデジタル革新を駆使
4 するなど今までと違う社会変革型の事業で地域に活力を与えていく必要があります。

5 まずは、佐賀青年会議所と行政、ひいては佐賀に住み暮らす地域の方がたとともに地域に
6 根付く運動を行っていくために、行政とともに地域課題の共有や地域団体との意見交換を
7 おこない、行政や地域団体との運動の架け橋となり連携関係を構築します。そして、佐賀の
8 地域に住み暮らす大人や子どもたちが利用する場所などの環境整備をするために、地域の
9 方がたとともに出来る運動や環境整備が必要な場所を行政に動いていただけるように働き
10かけをおこない、安全・安心で住みやすいから暮らしやすいまちづくりを行ってまいります。
11さらに、諸先輩が長きに亘り受け継いでこられた花火事業を構築するために、ソーシャルデ
12ィスタンスを用いた分散型、メディアやY o u T u b e を用いた花火大会の配信をおこな
13い、今の時代に合ったデジタルとアナログを用いた花火大会をつくってまいります。また、
14花火事業に子どもたちも巻き込んだ事業構築をおこなうために、子どもたちとともに花火
15に対する思いをのせた花火大会を形にし、大人と子どもたちが未来への明るい希望になる
16思い出に残る感動的な事業をつくってまいります。

17 佐賀青年会議所と行政、地域との関係をより結びつけることで佐賀に住み暮らす地域の
18 人びとと共に感動を分かち合い、佐賀に貢献できるまちづくり事業を続けていくことで「修
19 練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体
20 を目指します。

21

22

23 [事業計画]

- 24 1. 花火大会の企画・運営 (8月)
- 25 2. 京都会議参加者への支援 (1月)
- 26 3. 河川清掃 (4月)
- 27 4. 例会企画・運営 (4月・7月)
- 28 5. 全国大会大分参加者への支援 (10月)
- 29 6. 会員拡大 拡大目標 委員会8名 (全体40名)